

会議録

会議の名称	第1回飯塚市男女共同参画推進委員会
開催日時	令和8年4月27日(月) 14:00～16:00
開催場所	飯塚市役所本庁4階 入札室
出席委員	坂無淳委員、道園亜希委員、石井清行委員、野見山敦委員、戸畑典子委員、平嶋穂積委員、矢野由香委員、末清淳子委員、篠崎光寛委員
欠席委員	吉岡和子委員、岡松美千代委員、大谷香里委員、松本登美子委員
事務局職員	男女共同参画推進課長、企画担当主査、事業係長
アドバイザー	特定非営利活動法人 福岡ジェンダー研究所
	<p>1. 委嘱状交付</p> <p>2. 委員、事務局紹介</p> <p><議題></p> <p>(1) 会長・副会長の選出</p> <p>(2) 第3次飯塚市男女共同参画プランの策定について（諮問）</p> <p>(3) 飯塚市男女共同参画推進委員会の所掌事務及び「飯塚市男女共同参画推進条例」について</p> <p>(4) 第3次飯塚市男女共同参画プランについて</p> <p style="padding-left: 20px;">①策定の趣旨について</p> <p style="padding-left: 20px;">②男女共同参画に関する国・県の動き</p> <p style="padding-left: 20px;">③第3次飯塚市男女共同参画プラン体系図（案）、骨子（案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">④第3次飯塚市男女共同参画プラン策定に関するスケジュールについて</p> <p>(5) 令和8年度事業計画について</p> <p>(6) サンクスフォーラム実行委員会委員の選任について</p> <p>(7) 令和7年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書について（報告）</p> <p>(8) その他</p>

<p>会議内容</p>	<p>(1) 会長・副会長の選出 坂無会長、吉岡副会長を選出</p> <p>(2) 第3次飯塚市男女共同参画プランの策定について（諮問） 市民協働部長より坂無会長に対し、第3次飯塚市男女共同参画プランの策定について諮問が行われた。</p> <p>(3) 飯塚市男女共同参画推進委員会の所掌事務及び「飯塚市男女共同参画推進条例」について 事務局より説明 <質疑等なし></p> <p>(4) 第3次飯塚市男女共同参画プランについて</p> <p>① 策定の趣旨について 事務局より説明 (委員) 第3次男女共同参画プランの計画期間は何年間となるのか。 (事務局) 第1次および第2次プランでは10年間の計画期間を設け、社会情勢の変化等を踏まえ、5年経過時に中間見直しを行ってきた。しかし、今回の第3次プランについては、計画期間を5年とする予定。</p> <p>② 男女共同参画に関する国・県の動き 事務局（福岡ジェンダー研究所）より説明 (委員) 福岡県の第6次男女共同参画計画では、施策の柱3に「ジェンダー平等・男女共同参画社会の実現」というように「ジェンダー平等」という言葉を併記している。国の第6次男女共同参画基本計画において、「ジェンダー平等」という文言はどのように位置づけられているのか。 (事務局 福岡ジェンダー研究所) 「ジェンダー平等」の文言の使用については、各自治体等の判断に委ねられている側面がある。国においても「男女共同参画」という表現が主であるが、基本計画等の文脈においてその概念は含まれている。県のように「男女共同参画」と「ジェンダー平等」を併記する形式はとられていない。 (委員) 男女共同参画に関する国内動向として、性的マイノリティへの取組が紹介されたが、本プランにおいて、性的マイノリティに関する事項をどのように位置づけているのか伺いたい。 (事務局) 本市において、LGBTQ等に関する施策の所管は人権・同和政策課となっている。本プランにおいては、性的マイノリティに関する施策を個別の柱と</p>
-------------	--

して独立させるのではなく、男女共同参画の視点に基づく「関連施策」としての位置づけとして考えている。

(委員)

7 番の「性暴力根絶に向けた法整備」に関連し、「いのちの安全教育」について伺いたい。現場の養護教諭からは、内容自体がよく分からないといった声を聞くことが多い。現在、どの程度実施されているのか。もし把握していれば教えていただきたい。

(事務局 福岡ジェンダー研究所)

国において取組は開始されているものの、私自身、中学校・高校でのデート DV 講座等を通じて現場の声を聞く機会があるが、認知度が十分ではないという回答が多く聞かれる。具体的な実施校数については詳細な把握に至っていないが、新聞報道によれば、全国的にもあまり知られておらず、取り組みが進んでいないというのが現状のようである。

(委員)

9 番目の LGBTQ などの性的マイノリティに関する取組について、近年では「LGBTQ」よりも「SOGI (性的指向および性自認)」という言葉が用いられる傾向がある。「誰もが多様な性の中の一人である」という認識を広めていこうという方向だと思うが、福岡県においてはどのような表記・方針となっているか。

(事務局 福岡ジェンダー研究所)

福岡県の計画でどう表記されているかは、はっきりと把握していないが、福岡県においても、近年は「SOGI」という言葉はたしか使われており、過去に発行された県の LGBT 啓発資料においても、SOGI に関する説明がなされていたと思う。

③第3次飯塚市男女共同参画プラン体系図(案)、骨子(案)について
事務局より説明
<質疑等なし>

④第3次飯塚市男女共同参画プラン策定に関するスケジュールについて
事務局より説明
<質疑等なし>

(5) 令和8年度事業計画について
事務局より説明
(委員)

資料 8-1 の 2 (1) 「飯塚市女性人材バンク」について、この人材バンクが審議会等への女性登用にどの程度活用されているのか、昨年度の実績お

よび状況について伺いたい。

(事務局)

昨年度の人材バンクを活用した登用実績は0件である。各担当課から審議会等の委員選定にあたり、人材の候補として当課へ名簿閲覧の申し出があったものの、最終的には公募等の段階で委員が決定したため、本バンクを通じた登用には至らなかった。

(委員)

資料 8-2 の (5) 「家事・育児シェアシート」について、本年度の配布形態と、主な配布先について教えていただきたい。

(事務局)

家事・育児シェアシートについては、本年度も継続して配布を行う予定である。具体的な配布先は、婚姻届を提出される市民課窓口や、子育て部門が実施する「赤ちゃんすくすく元気訪問事業」において、新生児の各家庭へ訪問した際に直接配布を行っている。また、本庁・各支所や交流センター等の公共施設においても随時配布を行っているほか、市が実施する各種講座やイベント等の場においても、積極的に配布している。

(委員)

「家事・育児シェアシート」について、使用方法などの情報提供まで踏み込んでお渡しできているのか。配布の際、どのような意識で市民に渡しているのか、単に配布するだけではもったいないと思った。

また、3番相談事業について、男性が相談したい場合、飯塚市のどこの部署が相談窓口になっているのか。

(事務局)

男性からの相談は、相談内容が市の所管業務であれば該当する各部署へ繋いでいる。一方で、女性相談と同様の一般的な相談等については、福岡県が実施している電話相談等の窓口をご案内する形をとっている。

(委員)

資料 8-2 の 1 (5) ②にある情報誌「サンクス」について、以前は独立した冊子として発行されていたが、昨年度は「広報いづか」の中に掲載されている。本年度以降、情報誌のあり方をどのように考えているのか。

(事務局)

昨年度、情報誌「サンクス」については広報いづか3月号への掲載を行っている。広報誌への掲載については、より多くの市民の目に触れるという大きな利点があるため、本年度も引き続き「広報いづか」にて掲載する予定である。

(6) サンクスフォーラム実行委員会委員の選任について

末清委員を昨年度から引き続き実行委員会委員として選出

<質疑等なし>

(7)令和7年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書について（報告）

事務局より説明

（委員）

提言書の各課からの回答が本年8月に予定されているということなので、しっかりと受け止めていきたい。本資料の2ページについて、令和7年度の市職員における課長補佐の登用状況（現状値）は36.4%となっているが、プランの最終年度である令和8年度の目標値は30%となっている。一方で、課長については目標値が20%となっている。通常、課長補佐から課長へと昇進するキャリアパスを考慮すれば、次世代の候補層となる課長補佐の目標値を引き上げるのが自然な考えではないか。

（事務局）

令和8年度の目標値は、令和3年度の計画策定時に設定した数値をそのまま記載している。現状、課長補佐級は目標（30%）を上回る36.4%に達している一方、課長職は未達成の状況である。今年度が計画の最終年度であるため、現行の目標値の変更は行わない。今後は、次期（第3次）プランの目標設定に向け、今年度審議の場を通じて皆様のご意見を伺いたい。

（委員）

既に今年度の人事異動は実施済みであるため、現状の実績値（または速報値）は既に把握されているのではないか。可能であれば、その結果を共有いただきたい。

（事務局）

課長級の割合については、現時点で人事課から正式な数値の提供を受けておらず、配置状況から推計した暫定的な数値にとどまる。現状、目標には未達であるものの、数値自体は向上していると認識している。次回の会議にて、プランの進捗管理とあわせて正式な結果を報告する。

（委員）

数値目標の達成が先行し、本人の意思を置き去りにした登用が行われていないか危惧している。女性職員が意に反して管理職への昇進を強いられ、精神的負担がかかることは本末転倒。管理職登用に関し女性の意向を把握されているものはあるか。

（事務局）

現時点で提示可能な関連データ（アンケート結果等）は持ち合わせていない。人事課では管理職登用に伴う負担軽減を図るため、事前研修や外部研修の機会拡充などの取組を行っている。数値目標の達成のみを目的とせず、本人の負担に配慮した環境づくりに取り組んでいるものと理解している。

	<p>(委員)</p> <p>現行プランの女性管理職登用目標や既存の取組に加え、管理職の働き方の見直しや、仕事と生活の両立、職員のニーズ把握といった視点の必要性は伝えている。特に、男性を含めた管理職の働き方の見直しや、個々の実態に即したニーズ調査の重要性を強調し、次期プラン等の中にこれらを強調してもよいか思う。</p> <p>(8)その他</p> <p>今回は6月中の開催を予定しており、詳細な日程については決定次第、郵送にて通知する。当日はプランの審議および進捗管理等を予定しており、会議時間は2時間程度を見込んでいる。</p> <p>また、資料に対する委員意見書の提出期限は、5月7日までとする。特段の意見がない場合は提出不要とする。</p>
	<p>○配付資料</p> <p>資料1-1：飯塚市男女共同参画推進条例</p> <p>資料1-2：飯塚市男女共同参画推進条例のあらまし</p> <p>資料2：飯塚市男女共同参画推進条例施行規則</p> <p>資料3：男女共同参画に関する国内の動向</p> <p>資料4：第3次飯塚市男女共同参画プラン体系図（案）</p> <p>資料5：第3次飯塚市男女共同参画プラン骨子（案）</p> <p>資料6-1：令和8年度飯塚市男女共同参画推進委員会スケジュール</p> <p>資料6-2：令和8年度飯塚市男女共同参画推進委員会スケジュール（全体）</p> <p>資料7：第3次飯塚市男女共同参画プラン体系（案）等に関する委員意見書・返信用封筒</p> <p>資料8-1：令和8年度の事業計画（企画）</p> <p>資料8-2：令和8年度の事業計画（事業係）</p> <p>資料9：令和7年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書 第2次飯塚市男女共同参画後期プラン（新規委員のみ） 男女共同参画に関する市民意識調査結果報告書及び概要版 女性の労働状況に関する事業所調査結果報告書及び概要版 委員名簿</p>